

2018年 4月 20日

「サイレントドロップ®」が建材設備大賞 大賞を受賞！

戸田建設（株）（社長：今井雅則）、フクビ化学工業（株）（社長：八木誠一郎）が共同で開発した粒状床衝撃音低減材「サイレントドロップ®」が都市や建築・住宅の未来を切り開く優れた建材・設備を表彰する「建材設備大賞」において、最も評価の高い「大賞」を受賞しました。この受賞を契機に、より多くの人に「サイレントドロップ®」を知っていただき、戸田建設（株）社内だけでなく、社外でも「サイレントドロップ®」を広く活用していきます。



大賞

建材・設備メーカーから
応募された製品等を対象に
審査委員会により選出
2018年4月発表



写真1 サイレントドロップ®
(サイズ：450mm×450mm)

1. 受賞の概要

日経アーキテクチュアと日経ホームビルダーが主催する「建材設備大賞」は、都市や建築・住宅の未来を切り開く優れた建材・設備を表彰することで、技術や産業の発展に寄与し、社会に貢献することを目的としています。

今回、大賞を受賞した「サイレントドロップ®」は、再生樹脂を粒状に加工した特殊遮音粒材による新発想の床衝撃音低減材です。軽量で、天井裏に置くだけの簡単な施工により、人の飛び跳ね音や歩行音（重量床衝撃音※1）を低減することができます。

そのメリットを活かすことで、従来行われてきたコンクリートの床版を厚くする等の重量床衝撃音低減対策を大きく軽減できます。また、天井裏を利用するため、居室空間を狭めることなく、空間の有効利用ができ、さらに音が聞こえる側である下階側から施工可能であるため、改修工事にも利用できます。

※1 重量床衝撃音：上階で人が飛び跳ねたり、重いものを落とした衝撃によって発生し、階下に伝わる低い音のこと。マンション等のクレームの要因になる。



写真2 サイレントドロップ®の天井裏への敷設状況（イメージ図）

審査委員のコメント

粒状の基材を袋詰めにして天井裏に敷設し、上階で人が歩いたり飛び跳ねたりした際に伝わる「重量床衝撃音」を抑える。基材を粒状にしたことで、音エネルギーの吸収効率を高めた。

重量床衝撃音を5dB下げた場合の荷重増加量は6~8kg/m²で、一般的な防音対策であるスラブ増し打ちや二重床の採用と比べて大幅に軽い。

音を出さず上階側ではなく、実際に防音性能を高めたい下階側から施工できる点が高く評価された。

2. 今後の展開

「サイレントドロップ®」を使っていただくことで、建物の音環境の改善に貢献できると考えております。当社は今後、「サイレントドロップ®」を新築工事からリノベーションなどの改修工事まで幅広く、積極的に活用していきます。